

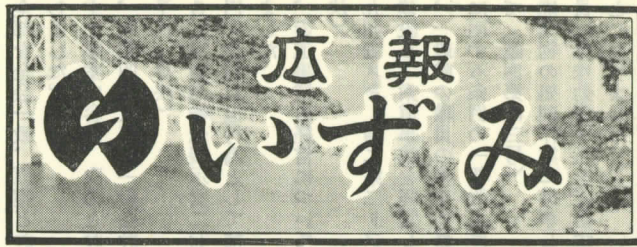
1973 (毎月1回)

10月号

(村の面積)

332,60 km<sup>2</sup>

発行所 福井県大野郡和泉村



(昭和48年9月1日現在)

村の人口

総人口 2,205人

男 1,141人

女 1,064人

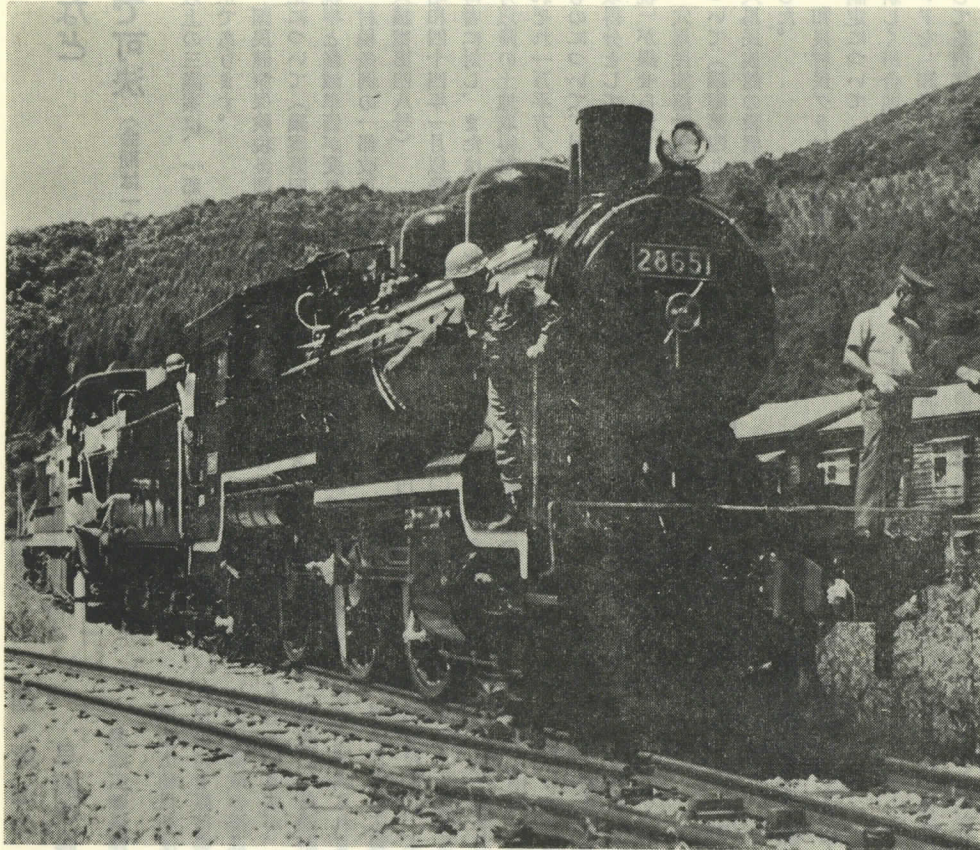
出生 1人

死亡 0人

転入 12人

転出 22人

世帯数 606世帯



# 『ハチロク』

## 民俗館前に永住

### 八月三十一日に化粧して到着

去る八月三十一日午前十時四十分、待望久しい八六二〇型蒸気機関車(通称ハチロク)がディーゼル機関車に後押しされて、歓声と拍手の中に、その雄姿を九頭竜湖畔ホームに現しました。

このハチロクは、大正八年大阪

汽車製造会社で造られ、それ以来広島、大阪、名古屋、長野各鉄道管理局管内で活躍し、最後に越美北線福井―大野間の貨物輸送に従事し、多くのSLファンに親しまれましたが、今回その長い活動の歴史を閉じたわけです。

今回、国鉄ご当局や各界の方々のご理解とご支援により、本村に貸与されることになりましたが、その雄大にして美しい姿は、永く村の自まんの種になるでありましょうし、たくさんの人から愛され親しまれることと信じます。

私達は、地球を七十一周する程働き続けたこの偉大なハチロクに対し、また、このハチロクをわが子のように大切に取扱い、運転、整備された国鉄マンの方々に深く感謝したいと思います。また、この栄光あるハチロクが余生の地を和泉村に選ばれたことは、まことに光栄であり、大切に保存し、長く後世に伝えたいと思います。

デーゼル機関車に後押しされて九頭竜湖畔にすべり込んだハチロクの勇姿

▽おしらせ△

### 祝 村民グランド完成

二十一日(日)に

第17回村民体育大会を開催

待望の村民グランド(川合)完成を祝し、第十七回和泉村民体育大会を開催します。

アトラクション

- 1、仁愛女子高校の鼓隊
- 2、祝グランド完成抽選会

カットする心の動きが事故のもと

▽和泉村議会第70回定例会△

### 村民グラウンド設置条例など

#### 十四議案を全会一致で可決 (会期は二日間)

和泉村議会第七十回定例会は九月十二日招集され、穴馬民俗館設置条例、和泉村民グラウンド設置条例など村長から提出された十四議案全部を全会一致、原案どおり可決しました。

主な議案内容は、次のとおり。

一、昭和四十八年度一般会計補正予算(専決)

◇SL機関車輸送展示費二七〇万円を債務負担行為として補正しました。

二、索道事業の経営について(専決)

◇九頭竜スキー場に第二リフトを建設し、索道事業を経営します  
三、一般職の職員の特務勤務手当に関する条例の一部改正について(議案第四三三号)

◇廃棄物の処理作業に従事した職員に特務勤務手当を支給することになりました。

四、老人医療費助成に関する条例の一部改正について(議案第四四号)

五、乳幼児医療費助成に関する条例の一部改正について(議案第四五号)  
六、身体障害者医療費助成に関する条例の一部改正について(議案第四六号)

◇以上の三議案は、一部字句の修正であります。

七、国民健康保険税条例の一部改正について(議案第四七号)

◇税率と軽減単価が変更されました。

八、村税条例の一部改正について(議案第四八号)

◇昭和四十四年一月以降の土地取得者に対し、または、ことし七月以降の土地取得者に対し、それぞれ一平方メートル以上のものについて、保有分、または取得分として、「特別土地保有税」が課せられます。

九、穴馬民俗館設置条例の制定について(議案第四九号)

◇穴馬民族館の設置を条例化しました。

十、和泉村民グラウンド設置条例の制定について(議案第五〇号)

◇新しく川合地区に完成したグラウンドを「和泉村民グラウンド」として条例化しました。

十一、本年度一般会計補正予算(第四次)案(議案第五一号)

◇継続事業として本年度から着工を予定されていた国民宿舎を、物価の高騰、資材不足などのため本年度着工を見送りによる予算減三、五〇〇万円。反面、朝日中瀬地区に排水施設三三六万

八千円、老人医療費補助に一七六万四千円、公民館下山分館の修繕費五〇万円など、差引き一四二万二千円を減額しました

十二、診療所事業特別会計補正予算(第一次)案(議案第五二号)

◇医療器具等購入のため四〇万円を計上しました。

十三、九頭竜スキー場第二リフト工事請負契約について(議案五三三号)

◇二、六〇〇万円で、第二リフト工事(延長四〇〇メートル)に着手することになりました。

十四、補償金等調定案の受諾について(議案第五四号)

### 国・県道の

#### 早期改修を要望

県政広聴員連絡協議会開かる

県政広聴員制度は、地域の要望住民の声を直接県政に反映し、よりよい県政の推進をはかるを目的としています。去る九月十八日「県政広聴員連絡協議会」が本村役場で開催されました。

県から飛田広報課課長補佐ら四名が来村され、本村からは、三島藤市氏、長谷川秀雄氏の両広聴員と村長ら五名が出席。

特に、国道、県道の早期改修を要望いたしました。

村民の皆さんも、この県政広聴

### ◇県道改良事業◇

#### 迂回道路【仮斜橋】から着工

谷戸ロトンネルの着工準備

庄ガ原(石徹白線)も工事中

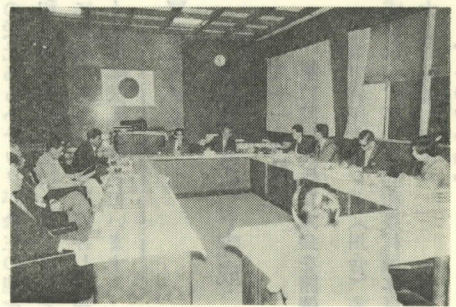
上大納・下山線(通称中竜線) 長二三〇メートルの工事は、交通等の関係から仮斜橋完成後に発注されることになりました。

白線)の改良事業についておしらせします。

石徹白線 山原ダムから峠無谷間(延長四四〇メートル)がこの程延長三六〇メートルを事業費五百五十六万円を着工し、残り八〇メートルは予算関係で十月中に発注の予定です。

後野部落下流については、昨年

員制度を活用され、豊かな郷土づくりをいたしたいと思います。



県政広聴員連絡協議会の一コマ

の延長一二三メートルと、後野橋から上流(昨年の継続)九六メートルは、いずれも現在工事中です。舗装については、昨年改良済みの三面谷から上流二〇〇〇メートルが十月中旬に発注の予定です。改良にあたり、土地所有の方々並びに通行人の皆さんにご迷惑をおかけすることと思いますが、何とぞご協力をいただきたいと存じます。



# 十月一日から募金運動始まる

## 大きな輪に たすけあいを 共同募金

世の中のみなが「しあわせ」に、ということとは、私たちが誰もがいただく願いであり、また、つとめでもありましょう。

しかし、世の中には、身寄りもない一人暮らしの老人や、身体の障害に苦しんでいられる不幸な人々も、たくさんおられます。

こうした人々を少しでもなくしように共同募金や、善意袋、歳末たすけあいなどの運動が行われています。

ことしも十月一日から共同募金運動がはじまりました。

一人でも多くの方々のあたたかいご協力をお願いします。

なお、さきの「善意銀行」にお寄せいただいた善意は、災害をうけられた方々、母子家庭や交通遺児などに使用させていただきます

**和泉村たすけあい銀行**

### 巡回行政相談所を開設

後野道場十九日午前中  
中電支所十九日午後

行政管理庁では、行政の民主的な運営に資するため、国の仕事、県の仕事、村の仕事など機能的連

### 火事、救急は役場へ

**火災通報はすみやかに**  
火災は、私達の財産をなくし、ときには生命をも奪うことがあります。万火災が発生したり、発見したときは、直ちに役場へ「**火事で役場**」と交換台へ申し出てくださいます。救急のときも同じく次の要領でご連絡ください。

場所を正確に(目標となるものを忘れずに)火事のはじめは何か燃えているか。救急のときは、ケガの状態、病状など最後に必ず、あなたの名前と連絡している場所を。

高まってきておりますが、ことしも、さらに広く国民の理解と認識を深めるために、十月十四日から二十日までを行政相談週間と定めいろいろな行事が計画されています。

本村においても、標記のように巡回行政相談所を開設します。国

県、村に対するいろいろな苦情、意見、要望等について、気軽に相談をお待ちしています。

なお県には、県政広聴員制度もあります。

◎行政相談員  
稲 郷 貞 一(朝日)

◎県政広聴員  
三島 藤 市(朝日)  
長谷川 秀 雄(中電)

### 伸ばそう、この記録

#### 死亡事故〇三六五日

- 交通安全映画会のご案内
- 十月十五日(月) 中電会館
  - 十月十六日(火) 朝日小学校
  - 十月十七日(水) 大納小学校
  - 十月十八日(木) 旧前坂冬分
  - 十月十九日(金) 旧後野分校
  - 十月廿二日(月) 旧下山小学校
- 各会場 午後七時~九時まで



上大納新町と県道の交差点にできたタイガーの交通力カガシ



朝日電源社宅角にお目見えのアシカのカガシ

### 順調な操業

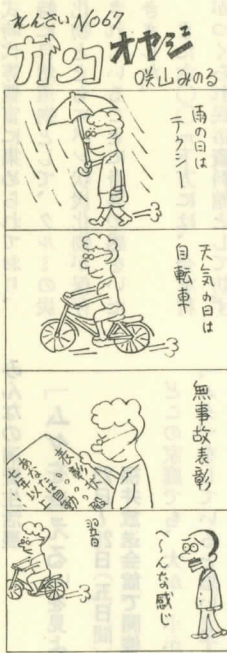
#### 明るい見通し

##### ニチコン下山分工場

和泉村工場設置奨励条例に基づき、去る七月三十日から、旧下山小学校を改造して店開きした「日本コンデンサー大野工場下山分工場」では、現在、従業員二十五名(ほかに内職二十軒)が、新しい職場で楽しく仕事に励んでいます。

通称「ニチコン」といわれているこの工場の本社は京都にあって操業二十三年、資本金十五億円、五つの工場(関連二十五)で、従業員約三五〇〇人とのこと。

下山分工場では、コンデンサー



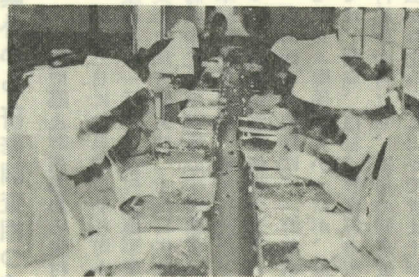
一団地五アール以上で、新植した翌年から三カ年以内の造林地下刈りに対し、一アール当り五十円の補助金が交付されます。

昭和四十五年から四十七年の間に造林をされ、今年下刈りをされた方は、補助金の交付申請をしてください。

申請手続きは役場業務課へ

### 造林地 下刈りに補助

三年間は一アール当り五十円を



コンデンサー組立作業中の一コマ

の組立し仕上げの仕事で、午前八時十分から午後四時十五分まで。年内には従業員も五十六名(内職も五十軒位)に増加して本格的操業に入りたいとして目下従業員募集中。

(お問合わせは)  
電話下穴馬局二三六番へ

# 本村の実態を発表

## 第15回全国社教委研究協議会 金沢市で開かる

去る九月二十五・二十七日の三日間、金沢市で第十五回全国社会教育委員研究協議会が開催され、本村から長谷川社教委委員長ら多数の委員が出席されて研修を深められました。

今回は「生涯教育のなかで住民の求める社会教育はいかにあるべきか」をテーマに開かれたもので、とくに、県教委が本村の社教活動を高く評価し、福井県代表として発表してほしいとの要請により、協議の結果、長谷川秀雄委員長が「和泉村における社教活動の実態について」と題して発表され、北は北海道から南の沖縄に至るまで全国各地から参加した大勢の方々



第二分科会で発表する  
長谷川秀雄委員長

に深い感銘を与えました。

さすがに、共通のなやみや願いを持つ人々の集まりだけに、質問も集中しましたが、ひとつひとつの答弁にたって、活発な討議がかわされました。

これからの新しい世代を生きぬくためには、先ず自ら進んで学習すること。そのための余暇をいかにして生み出すか、家族ぐるみで話し合いと協力も必要、行政のきめ細かい援助もさらに必要と。社会教育のあるべきすがたを深く掘り下げて研修されました。

### ▼文化財探訪▲ 峰一合遺跡を尋ねて

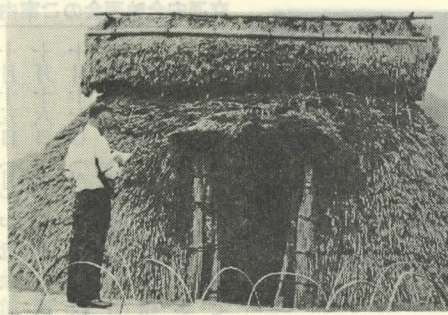
#### 岐阜県下呂町

九月十一日、村文化財調査委員一行は、岐阜県下呂町の峰一合遺跡を探訪しました。

小高い台地の上に、モダンな考古館と古代の住居を復元した素朴な茅葺きの家か建ちならび落ちついた雰囲気なのだよわせています。考古館は、鉄筋三階建七四二㎡が昭和四十七年五月オープン。総工費、七〇三万円をかけたといわれ、岐阜県下では全く例のない考古館とのことです。資料の点でも、先縄文時代、縄文時代、弥生

式時代等豊富に集められており、特に自然遺物として、クルミの炭化物とともにパン状炭化物が保存されていることに奇異の感をいだきました。

また六〇〇m下方には、合掌村がつくられ民俗資料館として訪ずれる人々に歴史の感慨をいっそう身近なものにしています。



縄文時代の住家

古館三万人、合掌村二十万人とのことで、町では独自の採算制とし、観光開発課が管理し収益も着実に伸ばしております。

委員一行は、和泉村にも縄文時代の立派な遺跡(角野前坂、小谷堂)がありますから、これらを活かして「穴馬の里」ともいったようなものをつくりたい、と念じつつ峰一合遺跡をとあにしました。

(村文化財調査委員会)

### みんなの消費生活展

#### 「ムダを考える」を見よう 25日(29日)五日間 福井放送会館で開催

どこの家庭でも、大か、小か「ムダ」をしていると思います。そのムダを少しでも減らし、消費生活に関する正しい知識を身につけ、賢い消費者になるための生活展が福井放送会館で開かれます

展示内容は、次のとおり。

- テーマ「ムダを考える」
- 流行からくるムダ
- 使い捨て経済
- 空間利用からくるムダ
- 廃棄物の上手な使い方
- 過大包装

その他もたくさんに展示されます。また、二十七日(土)午後一時〜三時まで「最近の消費者問題」と題して評論家、野村かつ子先生の講演もあります。

### 赤ちゃん誕生

上大納 島下哲史 稔 長男



島下哲史ちゃん

### 休耕田を

#### 円滑に利用しよう

昭和四十五年度から米生産調整

が実施されてきましたが、現在約三、六ヘクタールの水田が休耕状態となっております。これらの水田については、国の休耕奨励補助金が打ちきられる昭和四十九年度以降において、稲作に戻るか、転作するか。円滑な農地として利用していただくためには、次のような管理が必要です。

- (1) 休耕水田では、遅くとも十月中旬頃までに除草剤を撤布し、十月下旬頃には耕起する。
- (2) 一年以上継続して休耕した場合の水田は、秋期に雑草、雑木の刈払の除去を行う。

### 県外から研修調査相づく

鳥取県と群馬県から来村

九月三日には鳥取県若桜町から産経委員一行が、山村振興事業の実態を調査研究に。十四日には群馬県中之条町役場の中堅職員が、本村の開発状況、福祉行政などについて調査研修に来村されました。県外からの視察は、一昨年頃まではダム関係が多かったが、最近では、開発、福祉、教育等幅広い行政面が目立ち、本村の知名度の広がりをみる事ができますが、反面、行政のあり方についても来訪の方々からいろいろと教えられる事も多くなっております。

### あとがき

見やすい広報に、と、レイアウトを替えました。みなさんの建設的意見のご投稿を歓迎します。